

News Release



令和3年10月27日

各報道機関文教担当記者 殿

金沢大学・羽咋市での共同研究に基づき 羽咋市民 5,000 人を対象にした コロナ禍の影響調査を実施します

このたび、金沢大学の異分野融合研究プロジェクト「地域包括ケアとエリアマネジメント研究会」（研究プロジェクト代表：寒河江 雅彦）では、羽咋市と共同で令和元年に実施した『がんばる羽咋の「全住民基礎調査」』の追跡調査を11月中下旬に実施することになりました。この調査は、羽咋市との共同研究「羽咋市の都市像に係るランドデザイン事業に関する研究」に基づき、「健康づくり」、「認知症予防や介護予防」および「防災」などの地域特性を明確化するとともに、**市民生活へのコロナ禍の影響を調査し、今後の有効な政策検討・立案につなげるために実施**します。

調査は、40歳以上の羽咋市民の中から、ランダムに抽出した5,000人を対象とします。個人の生活習慣や地域交流・介護予防活動への参加状況と健診結果や医療費との関連などを調査するため、このアンケート結果を羽咋市役所が保有するデータおよび令和元年度実施のアンケート結果と結び付けて分析します。データの連結・分析にあたっては、株式会社ダイナトレック社が提供する仮想データ統合ツールを活用し、多彩なデータを個人が特定されない形で編集・加工します。

これらの分析結果を基に、羽咋市との間で地域の健康寿命や安全安心に向けた共同研究を展開し、**地域の多様なデータを複合的に分析した最先端の研究に取り組むと共に、羽咋市における健康まちづくり政策の立案・推進に寄与**します。

つきましては、効果的なアンケート実施に向けた周知や、取り組み内容・研究内容に関する取材・報道について、よろしくお願いたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

金沢大学先端科学・社会共創推進機構 平子

TEL : 076-264-6091 E-mail : hirako@staff.kanazawa-u.ac.jp